

# HANDEL FESTIVAL JAPAN 2011

第9回ヘンデル・フェスティバル・ジャパン



芸術文化振興基金助成事業

# SAMSON

## オラトリオ《サムソン》

—字幕付き—

「ヘンデル新全集」依拠「1743年初演版」世界初演(演奏会形式)  
苦悩する英雄の最後の一日を感動的に描いた超大作オラトリオ

2012.1/9 (月・祝)

開演15:00 (開場14:30)

(終演19:00予定)

浜離宮朝日ホール



サムソン  
辻裕久



デリラ  
森永朝子



ミカ  
波多野睦美



マノア  
牧野正人



イスラエルの女、他  
佐竹由美



ハラファ  
酒井崇



イスラエルの男、他  
前田ヒロミツ



指揮  
三澤寿喜

キャノンズ・コンサート室内合唱団&管弦楽団

一般S=7500円 A=6000円 学生(当日のみ)=3000円

支援会会員S=5200円 A=4200円

お得な2公演通し券 Sセット=8500円 Aセット=7200円  
\* 学生券…アレグロミュージックにて電話予約可。当日渡し。  
\* 通し券…アレグロミュージックにて取り扱い。前売りのみ。

チケット取り扱い

アレグロミュージック 03-5216-7131

朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

講演会 「《サムソン》~これぞヘンデル・オラトリオ~その魅力と聴きどころ」 一般=2000円

2011/12/17(土) 14:00~16:00

池上ルーテル教会

講師: 三澤寿喜

学生=1000円

支援会会員=1400円

主催 ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会

<http://www.handel-fj.org/index.html>

協力 東京古典楽器センター(チェンバロ)

石井賢(ポジティブ・オルガン)

字幕プラス

池上ルーテル教会

HFJ支援会HANDELIAN

助成

公益財団法人朝日新聞文化財団

公益財団法人三菱UFJ信託芸術文化財団

独立行政法人日本芸術文化振興基金

国際ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル協会(ドイツ、ハレ)

後援

マネージメント

問い合わせ

アレグロミュージック 03-5216-7131

HFJ事務局(三澤) 0297-82-7392

[jimukyoku@handel-fj.org](mailto:jimukyoku@handel-fj.org)

# HANDEL FESTIVAL JAPAN 2011

## 第9回ヘンデル・フェスティバル・ジャパン

### 主題「ヘンデル・オラトリオの典型」

激情人、劇場人、ヘンデル

#### 三澤寿喜 (HFJ実行委員長&指揮者)からのメッセージ

《メサイア》と同じ年(1741年)に作曲された《サムソン》は旧約聖書の題材に基づき、生き生きとした人間ドラマが展開する傑作オラトリオで、まさしく「これぞヘンデル・オラトリオ」と言うべき作品です。また、ヘンデル・オラトリオの中でも最長の演奏時間を要する「超大作」でもあります。ここにはヘンデルが教会作品で培った合唱様式と、オペラで培った独唱様式が見事に一体化されており、アイデア豊富な音楽構成は最後まで聴衆を飽きさせません。イギリスの誇る名詩人ミルトンの『闘士サムソン』から翻案された台本は荘厳かつ格調高く、アリアや合唱はもちろん、シェイクスピアの舞台劇を彷彿させる豊富なレチタティヴオもまた聴きどころとなっています。苦悩するサムソンの「最後の一日」の心理の移ろいにじっくりと耳を傾けてください。

#### 「ヘンデル新全集」による世界初演

本公演はドイツ、ハレの国際G. F. ヘンデル協会とペーレンライター社の協力を得ています。「ヘンデル新全集」は2012年1月に《サムソン》を出版予定ですが、その出版に先立ち、HFJ公演用に新全集に依拠した演奏用楽譜一式(フルスコア、パート譜、ヴォーカルスコア)を提供していただきます。このため本公演は「新全集」による「1743年初演版(最長版)全曲」の世界初演となります。

#### 企画1: 講演会「(サムソン)〜これぞヘンデル・オラトリオ〜その魅力と聴きどころ」

2011年12月17日(土)14:00~16:00 池上ルーテル教会 講師:三澤寿喜  
《サムソン》はオラトリオならではの斬新な工夫が凝らされた作品です。オペラとは異なる演奏会形式によるオラトリオは聴衆を「自由な想像の世界」へと誘うのです。劇場の魔術師ヘンデルの工夫とは?

#### 企画2:《サムソン》BWV 57 1743年初演版(最長版)全曲演奏

2012年1月9日(月・祝)15:00~19:00 浜離宮朝日ホール

#### あらすじ

士師サムソンはペリシテ人の美女デリラの奸計により怪力を失い、目を潰され、牢獄で石臼を牽いている。本オラトリオはサムソンが非業の死を遂げる「最後の1日」を描いている。  
第1幕:異教神ダゴンの祭りの日。ペリシテ人が浮かれ騒ぐ一方、牢獄のサムソンは自分の軽率な行為を悔やんでいる(名アリア Total eclipse「皆既日食だ」)。友人ミカや父マノアが訪れ、変わり果てたサムソンの姿に呆然とする。  
第2幕:デリラが登場し、サムソンとよりを戻そうとする(彼女のアリア To fleeting pleasures make your court「束の間の喜びを捕まえて」は彼女の傲慢で享乐的な性格を見事に表現)。しかし、サムソンが拒否するとデリラは去っていく。代わってペリシテの巨人ハラファが登場し、サムソンを挑発する。  
第3幕:異教徒の前に姿を現したサムソンは怪力を取り戻し、神殿を倒し、敵もろともその下敷きとなって息絶える。イスラエルの民は彼の偉業を讃える(イスラエルの女の有名なトランペット・オブリガート付きアリア Let the bright Seraphim「輝かしい熾天使は列をなして燃え上がり」と続く終曲合唱 Let the celestial concerts all unite! 天使の手になる演奏は、すべからず相和し)の壮麗さは壮大なオラトリオの締めくくりにあふわしい。



**池上ルーテル教会**  
大田区池上 6-21-18  
Tel 03-3751-6812

※東急池上線池上駅下車徒歩5分。  
※駐車スペースはありません。



**浜離宮朝日ホール**  
中央区築地 5-3-2  
Tel 03-5541-8710

・都営地下鉄大江戸線・築地市場駅A2出口、3分。  
・地下鉄日比谷線・東銀座駅6番出口築地駅1, 2番出口から徒歩7~8分。  
・都営浅草線・東銀座駅6番出口から徒歩7~8分、新橋駅から約15分。  
・JR新橋駅銀座口から徒歩約15分。  
・新橋駅銀座口から都営バス【市①系統】「中央兜町市場行き」または「朝日新聞循環」で「浜離宮前」または「朝日新聞社前」下車。 ※駐車場は近くの首都高速汐留地下駐車場をご利用ください。(問い合わせ先:03-3542-0341)

#### 辻裕久 Hirohisa Tsuji

(テノール◆サムソン[士師])  
東京藝術大学音楽学部声楽科卒、同大学院修了。英国王立音楽院大学院演奏家養成コース修了。94年故ダイアナ妃後援によるヘンデル《メサイア》公演ソリストとしてロンドン・ロイヤル・フェスティバルホールにデビュー。以来、国内外で幅広い活躍を続けている。CDに『ベンジャミン・ブリンデン歌曲集』I、II、『ヴォーン・ウィリアムズ歌曲集』、『ベッリーニ-歌曲集』、『ヘンデル《メサイア》など。現在、玉川大学芸術学部教授。

#### 森永朝子 Tomoko Morinaga

(メゾ・ソプラノ◆デリラ[サムソンの妻])  
武蔵野音楽大学及び同大学院修了。フンクフルトとミラノへ留学後、文化庁オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノ留学。09~10年、武蔵野音楽大学勲奨在外研修員(研究者)としてパリとミラノで研修。オペラ、交響曲、オラトリオ、歌曲のソリストとして、的確な表現力で常に高い評価を得ている。09年、ハンガリー・ブダペスト春の音楽祭等内外で活躍。武蔵野音楽大学専任講師。二期会オペラ研修所講師。二期会会員。

#### 波多野睦美 Mutsumi Hatano

(メゾ・ソプラノ◆ミカ[サムソンの友人])  
宮崎大学卒業後、英国ロンドン・トリニティ音楽大学声楽専攻科修了。1990年リュート歌曲でデビューし、歌曲、オペラ、オラトリオなどのジャンルで活動、国内外の音楽祭に出演。NHKニューイヤーパーヴォンコンサート、サイトウキネンフェスティヴァルに出演。CD作品多数。近作に『パーセル歌曲集:ソリチュード』や高橋悠治との共演で『ゆめ』のよる』がある。2011年7月に共演の第2作目『猫の歌』を発表。

#### 牧野正人 Masato Makino

(バス◆マノア[サムソンの父])  
所属する藤原歌劇団では《椿姫》《アイダ》《ボエーム》等に出演。新国立劇場にも《リゴレット》《ナブッコ》《セビリアの理髪師》等、度々主要な役で出演。わが国を代表するバリトン歌手。イタリア・バロック時代の演奏と研究は高い評価を受けており、多くの音楽セミナーに講師として参加し、バロック時代の歌唱法を基にした発声法や演奏表現を後進に伝えている。ジローオペラ賞受賞。洗足学園音楽大学教授。ロッシニ協会会員。

#### 佐竹由美 Naomi Satake

(ソプラノ◆イスラエルの女、ペリシテの女、乙女)  
東京藝術大学及び同大学院博士課程修了。ロータリー国際親善奨学生としてミラノに留学。第53回日本音楽コンクール第2位、ノバラ市国際声楽コンクール第2位、ライブツピヒ第8回バッハ国際コンクール第4位入賞。その確かな技術に支えられた透明感のある美声と洗練された歌唱が最大の魅力で、宗教作品、オペラや現代作品などで常に高い評価を得ている。よんでん文化振興財団芸術文化奨励賞受賞。二期会会員。

#### 酒井崇 Takashi Sakai

(バス◆ハラファ[ペリシテの巨人])  
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院ソロ科修了。高橋大海、菅田昭宏の両氏に師事。イタリア・バロック声楽作品、ドイン・リートなどをプログラムにリサイタルを開く。また、バッハの《短調ミサ》やカンタータ、《メサイア》、モーツァルト、フォーレの《レクイエム》、ドヴォルザークの《スターバ・マーテル》、メンデルスゾーンの《エリヤ》などでソロを務める。東京室内歌劇場、イタリア歌曲研究会会員。

#### 前田ヒロミツ Hiromitsu Maeda

(テノール◆イスラエルの男、ペリシテの男、使者)  
国立音楽大学音楽学部声楽学科卒業。2000年4月に渡英、ロンドン英国王立音楽院大学院演奏ディプロマコース修了。ヨーロッパ各地においてコンサートや教会音楽のソリスト、アンサンブル・メンバーとして活動。オペラではオランダ・パーク野外オペラ劇場、ベンスロー・バロック・オペラ等に出演。セントオーバンス音楽フェスティバル 英語歌唱部門最優秀賞。帰国後は英国歌曲の演奏を積極的に行っている。

#### 三澤寿喜 Toshiki Misawa

(指揮)  
HFJ実行委員長。国立音楽大学大学院修了。主要著書『ヘンデル』(音楽之友社)。主要編著書『ヘンデル・アリア選集』(共編著。全3巻。全音楽譜出版社)、『ヘンデル二重唱曲集』(音楽之友社)。主要訳書:ホグウッド著『ヘンデル』(東京書籍)、他。最近指揮も行う『メサイア』1741年初稿版全曲(09年4月)、《エイシスとガラテア》全曲(10年1月)など。国際ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル協会(ドイツ、ハレ)理事。

\* HFJを支援する会(HANDELIAN)  
年会費1口1万円から。特典は優先予約と割引(概ね3割引き)等。  
問い合わせ:HFJ事務局

#### 《エイシスとガラテア》

(CD2枚組:HFJCD1001-2)5000円(税別・送料別)  
2011年1月13日第8回HFJ公演ライブ



『レコード芸術』  
2011年9月号【準特選】

ご注文・お問い合わせ:HFJ事務局

#### キャンズ・コンサート室内合唱団&管弦楽団

名称は、ヘンデルが1718年頃に滞在したロンドン郊外キャンズCannonsに建てられたシャンドス公爵邸の専属合奏団Cannons Concertに因む。

Organized by Committee of HANDEL FESTIVAL JAPAN (URL: <http://www.handel-f.jp/>)  
Endorsed by GEORG-FRIEDRICH-HANDEL-GESELLSCHAFT, Internationale Vereinigung, e.V.,  
For further information, please contact HFJ Committee Office  
(Tel: +81-297-82-7392, email: [jimukyoku@handel-f.jp](mailto:jimukyoku@handel-f.jp))  
MOTTO: HANDEL - A MAN OF PASSION & A MAN OF THEATRE

HANDEL FESTIVAL JAPAN Vol. 9 (HFJ 2011), "Handel's Quintessential Oratorio".  
PROJECT I includes a lecture "Samson - Handel's great Oratorio and its alluring qualities" at Ikegami Lutheran Church, Tokyo, starting at 14:00, Saturday, 7.12.2011. There will be a Lecture by Toshiki Misawa. Tickets for an adult is ¥2000 (free seating) and a student is ¥1000.  
PROJECT II includes a performance "Oratorio SAMSON (HWV 57)" at Hamarikyu Asahi Hall,

Tokyo, starting at 15:00, Monday, 9.1.2012; Performed by Hirohisa Tsuji (T: Samson), Tomoko Morinaga (MS: Dailia), Mutsumi Hatano (MS: Micah), Masato Makino (B: Manoa), Takashi Sakai (B: Harapha), Naomi Satake (S: An Israelite Woman, A Philistine woman, A Virgin), Hiromitsu Maeda (T: An Israelite, A Philistine, Messenger), Cannons Concert Chamber Choir & Orchestra, and conducted by Toshiki Misawa. Tickets are ¥7500 for S, ¥6000 for A, and ¥3000 for a student.